

ISO14001の 取り組み状況

町では、平成14年7月24日にISO14001の認証を取得し、さまざまな施策を実施しています。

平成14年度にB&G海洋センターなど7施設を新たに追加して監視しているため、温室効果ガス(二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素)の排出量は3・70%の伸びの4千786tとなっています(表1)。

また、この認証取得期間は3年間とされており、昨年同様、本年度も7月11日に定期審査を受けたところ、システムが向上しているとの総合評価がなされました。

【表1】CO₂換算温室効果ガス
排出量一覧表

(単位: t-CO₂, %)

ガス別詳細	平成11	平成17	平成11 比較
ガソリン	87.6	96.8	10.50
灯油	177.9	129.8	-27.04
軽油	122.0	109.9	-9.92
A重油	315.3	414.6	31.49
LPガス	33.2	26.6	-19.88
天然ガス	106.3	80.9	-23.89
都市ガス	116.5	286.5	145.92
電気使用量	1,941.4	2,401.8	23.71
一般廃棄物焼却	1,541.1	1,085.5	-29.56
合計	4,441.3	4,632.4	4.30
メタン	0.1	0.1	0.00
一般廃棄物焼却	11.4	10.1	-11.40
合計	11.5	10.2	-11.30
酸化二窒素	3.7	3.4	-8.11
一般廃棄物焼却	158.6	140.0	-11.73
合計	162.3	143.4	-11.65
温室効果ガス合計	4,615.1	4,786.0	3.70

【表2】17年度目標達成状況

17年度目標	実施項目（手段）	目標達成状況	評価
低公害車・小型車の導入、自転車・バイクの利用促進、エコドライブ（アイドリング・ストップ等）の推進、公共施設駐車場の利用	H17年度目標 12.2%増 目標未達成であるがイベントの増加や団体の準備等の関係からことから右記評価とする	＝	
休憩時間の短縮、適正なOA事務機器の管理、ノーマルモードの設定、不要な電気設備の撤去、節電対応機種への変更、空調機フィルターの清掃、室内設定温度の管理	H17年度目標 4.3%増 目標未達成であるが、夏の猛暑による空調設備の使用機種の増加が理由であることから右記の評価とする。	＝	
室内設定温度の管理、空調機フィルターの清掃	H17年度目標 41.0%増 目標未達成であるが、数年前からの猛暑の影響から右記評価とする	＝	
ガス器具の適正な使用	H17年度目標 9.4%増 目標未達成であるが、灯油同様の理由により増加したものであることから右記の評価とする	＝	
両面印刷の徹底、片面印刷の再利用の徹底、文書の簡素化・薄紙化、文書の電子化・LAN等ネットワークの活用、コピーカウンターのプリペイド化、Eメールの活用	H17年度目標 5%増 目標未達成であるが設計業務増加等が理由であるため右記評価とする	＝	
事務用紙、印刷用紙の再生紙の使用、グリーン商品、エコマーク商品購入の促進	一括購入する共通部品の購入品目に対するグリーン商品の割合 80.9%	↑	
トイレ洗面所での適正な水の使用、蛇口の節水バルブの設置、雨水の利用	H17年度目標 2.6%増 目標未達成であるが、電気使用量と同様に猛暑の原因で増加したことが理由であることから右記の評価とする。	＝	
分別の徹底、使用済紙の再利用、使用済紙の再利用、ゴミ袋の配布制限、ゴミ箱数の削減、ペーパーレス化の促進	H17年度目標 29.3%減	↓	
ゴミ減量化機器購入補助制度のPR	ゴミ減量化機器購入補助件数 78件	↓	
再生資源の使用、建設副産物リサイクルの推進・徹底、環境にやさしい工法の採用・採用	公共工事設計・施工環境配慮設計に基づき実施 3件	↓	
環境に配慮した公共工事を実施するための設計の検討・作成	公共工事設計・施工環境配慮設計に基づく指導 3件	↓	
廃棄物不法投棄の監視及び回収、クリーンアップ作戦の実施、違反広告物の除去・指導	年間撤去件数 149件 年間回収量 8.8%	↓	
公共施設駐車場の利用促進、ゴミの削減、分別、リサイクルの推進、環境配慮へのPR	いながわまつりでの巡回バスの運行・ゴミの分別の徹底、チラシの再生紙の利用、エコイベント開催方針の策定	↓	
環境学習会の開催、ラブリバー猪名川、エコフェスタ等の企画、町広報、その他印刷物による啓発、実践版ISOの実施	川サミット、環境講演会、星まつり、水生生物観察会などの開催	↓	
環境教育推進計画の策定、環境教育の実施、ゴミ処理施設見学の実施	各小・中学校における環境教育の実施、ゴミ処理施設見学 7小学校 環境教育推進計画の策定	↓	
環境学習施設の利用啓発	天文台利用者数 5,372人	↓	
住民等への清掃用具の貸出	貸出件数 18件	↓	
下水道の整備及び水洗化への切り替え促進のPR	水洗化人口 29,585人 水洗化率 98.7%	↓	
合併浄化槽補助制度のPR	合併浄化槽設置補助件数 3基	↓	
水質改善の実施	年間実施 結果をHPにおいて公開	↓	
雨水貯留槽補助制度のPR	雨水貯留槽設置補助件数 11基	＝	
太陽光発電設置への補助、公共施設への太陽光発電設置方針の策定、公共施設への太陽光発電設置	太陽光発電設置補助件数 9件	↓	
ふれあいバスの運行、渋滞緩和施策の推進	ふれあいバスの利用者数 16,448人 駐車場利用台数 244,968台	↓	

平成18年度安全功労者

内閣総理大臣表彰を受賞



白金地区
松田福久さん

通商産業省原子力発電技術顧問など25年間就任され、溶接学の専門家としての科学的知見に基づき、原子力発電設備の溶接部の安全向上に努められました。原子力関係の顧問会、委員会などにおいて、主導的立場で原子力設備などの事故防止、安全運転などの安全水準の向上に尽力されるなど、原子力災害の防止および安全の向上に多大な貢献をされました。(大阪大学名誉教授)

70歳以上(現役並み所得者)の医療費の自己負担が2割から3割に変わります

70歳以上の高齢者のうち、現役並み所得の人(老人保健対象者も含む)の自己負担割合が2割負担から、現役世代の人と同様の3割負担になります。その他の人は従来どおり1割負担です。

平成18年9月
まで2割負担

平成18年10月
から3割負担

【参考】現役並み所得者とは、月収28万円以上(サラリーマンの場合)・課税所得145万円以上の高齢者

現役並み所得となる世帯の収入(平成18年8月から)	
夫婦2人世帯	520万円以上(年収ベース)
単身世帯	383万円以上(年収ベース)

課税所得が145万円以上で世帯の収入金額が520万円未満の世帯(単身世帯は383万円)は基準収入額適用申請書の提出により1割負担となります。

現役並み所得者と同一世帯の70歳以上の人についても同様の負担割合となります。

問い合わせは、保険住民課(766-8700)へ。



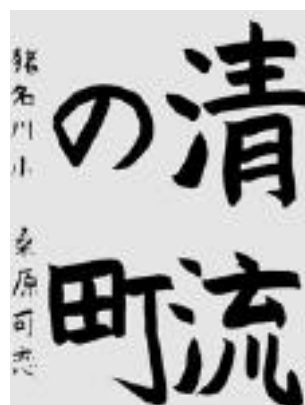
猪名川小学校



▲ プールにきました。水が
つめたかったです。すべりだ
い、すべったらポツチャンとは
まりました。
とおちか みく
遠近 美来さん(2年)



▲ 野球でホームランをうちたいです。
にしもと よしき
西本 慈章くん(2年)



▲ 私達の住む猪名川町の川は、とてもきれいな水でいっぱいホタルがいるとても美しい町です。それを想像して書きました。
くわはら かれん
桑原 可恋さん(6年)



▲ 私達が住んでいる猪名川町は自然に囲まれた緑豊かな町です。私はこの猪名川町が大好きです。
いしばし あかね
石橋 茜音さん(6年)